

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会 第5回総会 次第

日時：令和8年3月26日(木)13:30~15:00

場所：びわ湖大津プリンスホテル2階

「コンベンションホール 淡海」

1 開 会

2 国歌斉唱

3 滋賀県民の歌斉唱

4 あいさつ

5 審議事項

- (1) 令和7年度事業報告(案)
- (2) 令和7年度収支補正予算(会長専決処分)
- (3) 令和7年度収支決算承認の会長への委任(案)
- (4) 実行委員会解散・会則の廃止(案)

6 その他

- ・特別感謝状贈呈式(故 河本 英典 氏)
- ・スポーツ・アクティビティ用車いす「パラサポ!ミライ」贈呈式
- ・イベント

「湖国の感動 未来へつなぐ~全国高校総体、ワールドマスターズゲームズへ~」

7 閉 会

令和7年度事業報告（案）



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く
国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

1. わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 大会概要

第79回国民スポーツ大会（わたSHIGA輝く国スポ）

会期前：令和7年9月6日～9月15日、令和7年9月21日～9月25日

本会期：令和7年9月28日～10月8日

正式競技37競技、特別競技1競技、
公開競技7競技、デモスポ26競技

来場者数 のべ 約60.4万人



第24回全国障害者スポーツ大会（わたSHIGA輝く障スポ）

本会期：令和7年10月25日～10月27日

正式競技14競技、
オープン競技4競技

来場者数 のべ 約8.2万人



2. 競技成績

★国スポ 天皇杯・皇后杯獲得

🏆 男女総合成績(天皇杯) **第一位**

🏆 女子総合成績(皇后杯) **第一位**

※開催県の天皇杯・皇后杯獲得は、茨城大会以来4大会ぶり



<国スポにおける天皇杯順位の推移>

開催年	H29	H30	R1	R2・R3	R4	R5	R6	R7
開催地	愛媛	福井	茨城	中止/延期	栃木	鹿児島	佐賀	滋賀
順位	39位	31位	30位	—	20位	17位	8位	優勝

★障スポ 過去最高のメダル数獲得

🏆 金メダル **87個**

🥈 銀メダル **53個**

🥉 銅メダル **34個**

合計 **174個**
※過去最高の獲得数



3. 滋賀のこだわり～みんなが輝く大会に～

(1) 環境に配慮し実践する大会

- マイボトル持参の呼びかけ（各会場での給水量約19,600ℓ）
ペットボトル 約39,000本分
- 再生繊維スタッフウェア（ペットボトル再生繊維100%）
ペットボトル 約85,000本分
- リユース食器で環境配慮
約10,000個の再利用



(2) スポーツの力でつくる共生社会

- 会場におけるバリアフリーの取組
外部からの刺激や環境変化に敏感な方などが、気持ちを落ち着かせるために利用する「カムダウンスペース」を障スポ全会場に設置。
- 情報保障の新たなチャレンジ
音声配信サービスを用いた実況配信、国スポでの情報保障席設置など、障害の有無に関わらず楽しめる工夫を実施。
- 来場者アンケートの実施
大会をきっかけに共生社会の実現への関心が高まった **86%**



(情報保障席：国スポ バスケットボール) 3

(3)おもてなしで滋賀の魅力発信



- おもてなしSHIGAエリア、わたSHIGA輝く賞の贈呈
滋賀の食の提供、記念グッズ販売、お菓子のふるまい等でお迎え。
成績優秀者に副賞「わたSHIGA輝く賞」として特産品等を贈呈。

- ボランティアの活躍
開・閉会式をはじめ、各競技会場でのべ約10,000人のボランティアが活躍。



(4)子ども、若者、女性が活躍

- 子ども、若者、女性が作り上げた大会
高校生を中心とした式典音楽隊・競技補助員、
学校観戦等の子ども達の大声援、
女性リーダーによる式典制作など。



- 選手団のサポーター
次世代を担う若者に、選手との交流を通して障害理解を
深めてもらうことを目的に、**県内大学・専門学校生等**
およそ**1,700名**が障スポの選手団サポーターとして参加。



★大会記念（彦根総合スポーツ公園）

<記念植樹> 彦根総合スポーツ公園（緑の広場）
大会開催を記念し、選手や子ども達とともにイロハモミジの苗木を植樹。



<記念陶板設置> 彦根総合スポーツ公園（平和堂HATOスタジアム正面入口横）
わたSHIGA輝く国スポ・障スポで生まれた感動を後世に伝える「記念陶板」を設置。



大会で得た感動や経験、うまれた“人とスポーツとの様々な関わり”を未来への糧に!

スポーツのちからで かわる つながる ひろがる SHIGA



かわる

まちがかわる

- ・シンボルスポーツの創出と定着
- ・スポーツ施設の利用促進や有効活用

移動がかわる

- ・ライドシェア等の実証、新たなモビリティの検討

学校での活動がかわる

- ・部活動改革（地域連携等の推進）

- ▶ 2030年までにシンボルスポーツ定着を目指す
- ▶ 2027年に県内公共スポーツ施設の利用者数を880万人以上に
- ▶ 中学校部活動における地域連携の推進と地域展開を見据えた対応

ひとがつながる

- ・観光コンテンツの磨き上げ
- ・「食」を通じたファンや関わり方の創出
- ・HPに構築した魅力発信ページを活かした情報発信
- ・パラアスリート交流

行動につながる

- ・健康づくりの推進
- ・しがプラスチックチャレンジプロジェクト

大会の経験がつながる

- ・近畿ブロックインターハイ（2026年）
- ・ワールドマスターズゲームズ関西（2027年）
- ・サイバーセキュリティの確保、テロ対策等の推進
- ▶ 2027年に観光入込客数を6,000万人(過去最高)に
- ▶ 客観的健康寿命のさらなる延伸
- ▶ 給水スポットのさらなる増加

つながる

夢・可能性がひろがる

- ・ジュニアアスリート育成
- ・アスリートのセカンドキャリア支援
- ・子どもの体験活動の充実

ひろがる

楽しさひろがる

- ・スポーツの集客力を生かした公園の魅力発信
- ・レベルや特性等に応じたスポーツ振興
- ・スポーツ人材の育成

裾野がひろがる

- ・パラスポーツ実施機会・環境の充実
- ・子育て世代のスポーツ環境整備
- ・共感を広げ、支える人の裾野を広げる

大会を機に醸成された機運がひろがる

- ・スポーツ施設等へのウォーターサーバー設置
- ・共生社会づくり、ユニバーサルデザイン
- ・手話等による意思疎通の促進
- ・社会全体で取り組む治安対策の強化

- ▶ 2027年にスポーツを観戦した県民の割合を40%以上、スポーツボランティア参加者数を3,800人以上に
- ▶ 共生社会になっていると感じる人の割合をUP

大会を契機にうまれた有形無形のレガシーで
「健康しが」を深化

【第80回国民スポーツ大会】 冬季大会の結果概要

第80回国スポ 冬季大会が青森県と秋田県で開催
冬季大会終了時点での男女総合成績は 過去最高の 4位!



競技名	天皇杯得点	順位	皇后杯得点	順位
スケート	77点	10位	39点	13位
アイスホッケー	50点	4位		
スキー	40点	9位	34点	5位
総合成績	167点	4位	73点	5位

「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」に向けた選手強化の取組は
レガシーとして成果に表れています!

令和7年度収支補正予算（会長専決処分）

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会会則第16条第1項の規定に基づき、次のとおり令和8年3月13日に専決処分したことから、同条第2項の規定に基づき、承認を求める。

1 収入の部

(単位：円)

予算科目名	当初予算額 (A)	補正増減額 (B)	補正後予算額 (C=A+B)	(参考) 決算見込額	摘要
繰越金	357,952,000	0	357,952,000	357,951,385	前年度繰越金
負担金	7,678,550,000	△ 1,646,868,000	6,031,682,000	6,014,406,559	滋賀県負担金
協賛金	218,604,000	55,768,000	274,372,000	274,372,777	協賛金収入
諸収入	50,890,000	56,579,000	107,469,000	107,857,896	交付金・助成金、 預金利息、総合開 会式入場料等
合計	8,305,996,000	△ 1,534,521,000	6,771,475,000	6,754,588,617	

2 支出の部

(単位：円)

予算科目名	当初予算額 (A)	補正増減額 (B)	補正後予算額 (C=A+B)	(参考) 決算見込額	摘要
事業費	8,172,818,000	△ 1,517,021,000	6,655,797,000	6,642,063,436	
事務局費	133,178,000	△ 17,500,000	115,678,000	112,525,181	
合計	8,305,996,000	△ 1,534,521,000	6,771,475,000	6,754,588,617	

令和7年度収支補正予算（会長専決処分）内訳

○ 収入

(単位:円)

予算科目名	当初予算額 (A)	補正増減額 (B)	補正後予算額 (C=A+B)	(参考) 決算見込額	摘要
1 繰越金	357,952,000	0	357,952,000	357,951,385	前年度繰越金
2 負担金	7,678,550,000	△ 1,646,868,000	6,031,682,000	6,014,406,559	滋賀県負担金
3 協賛金	218,604,000	55,768,000	274,372,000	274,372,777	協賛金収入
4 諸収入	50,890,000	56,579,000	107,469,000	107,857,896	
(1) 交付金	30,000,000	3,606,000	33,606,000	33,606,000	(公財) 日本スポーツ協会交付金
(2) 助成金	11,240,000	△ 5,000,000	6,240,000	6,240,000	JKA助成金
(3) 総合開会式入場料	3,000,000	168,000	3,168,000	3,168,000	
(4) 出店料	2,650,000	△ 542,000	2,108,000	2,108,600	おもてなしエリア出店料
(5) 預金利息	4,000,000	3,248,000	7,248,000	7,636,270	
(6) その他	0	55,099,000	55,099,000	55,099,026	合同配宿業務市町負担金、馬術競技用障害物売却金、マスコット使用料
計	8,305,996,000	△ 1,534,521,000	6,771,475,000	6,754,588,617	

○ 支出

(単位:円)

予算科目名	当初予算額 (A)	補正増減額 (B)	補正後予算額 (C=A+B)	(参考) 決算見込額	摘要
1 事業費	8,172,818,000	△ 1,517,021,000	6,655,797,000	6,642,063,436	
(1) 総務企画費※	540,661,000	△ 203,169,000	337,492,000	337,079,122	来場者管理業務委託費、県立施設使用料、服飾等製作業務委託費等
(2) 広報・県民運動費	335,313,000	△ 22,420,000	312,893,000	307,403,501	競技映像配信業務委託費、おもてなし広場企画・運営業務委託費、運営ボランティア研修費等
(3) 全国障害者スポーツ大会費※	1,141,558,000	△ 133,200,000	1,008,358,000	1,007,478,370	障スポ競技会場整備業務委託費、手話・要約筆記および選手団サポートボランティア養成費等
(4) 競技費※	226,058,000	△ 57,000,000	169,058,000	167,805,935	競技用具整備費、中央競技役員派遣所要経費等
(5) 県運営競技費※	1,333,852,000	△ 460,000,000	873,852,000	873,023,679	競技会開催経費、県外事務所経費等
(6) 式典費※	808,002,000	△ 191,000,000	617,002,000	614,047,645	式典実施・運営業務委託費、式典衣装製作費等
(7) 会場調整費	1,718,498,000	△ 245,000,000	1,473,498,000	1,472,554,371	開・閉会式会場等整備業務委託費、開・閉会式等警備実施業務委託費等
(8) 宿泊・輸送費	1,850,272,000	△ 261,000,000	1,589,272,000	1,588,298,813	障スポ合同配宿・輸送計画業務委託費、障スポ配宿・輸送計画業務委託費等
(9) 協賛金事業費	218,604,000	55,768,000	274,372,000	274,372,000	新聞・フリーペーパー広告、観戦ガイドブック、シティドレッシング等
2 事務局費	133,178,000	△ 17,500,000	115,678,000	112,525,181	
(1) 人件費	59,554,000	12,966,000	72,520,000	71,809,733	事務局員給与等
(2) 事務局員旅費	22,685,000	△ 3,392,000	19,293,000	18,345,804	開催準備に係る出張旅費、県運営競技関係旅費等
(3) 事務局運営費	50,939,000	△ 27,074,000	23,865,000	22,369,644	実施本部員マニュアル作成費、事務用品購入費、消費税等
計	8,305,996,000	△ 1,534,521,000	6,771,475,000	6,754,588,617	

※ 繰越事業費を含む。

令和7年度収支決算承認の会長への委任（案）

令和7年度収支決算については、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会会則第19条第2項の規定にかかわらず、その承認を会長に委任する。

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会会則（抜粋）

（収支予算および収支決算）

第19条 実行委員会の収支予算は、総会の議決を経なければならない。

2 実行委員会の収支決算は、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会の解散および会則の廃止（案）

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会は、同実行委員会会則第22条第1項の規定にかかわらず、会長が令和7年度収支決算を承認した日をもって解散し、会則を廃止する。

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会会則（抜粋）

（目的）

第2条 実行委員会は、令和7年（2025年）の第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会（以下「両大会」という。）を滋賀県において開催するため必要な事業を行うことを目的とする。

（総会）

第11条 総会は、会長および委員をもって構成する。

4 総会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。

(2) 会則の制定および改廃に関すること。

（解散）

第22条 実行委員会は、第2条に規定する目的が達成されたときは、総会の議決を経て解散する。